

2025年度避難訓練計画

月	訓練種類	ねらい	内容
4月	避難訓練 (地震)	机上での訓練を行い、 地震時における避難の方法を 学ぶ	各年齢にあった机上での訓練を行う 防災頭巾のかぶり方の確認。 部屋の中での避難の仕方の確認。
	消火訓練	消火器のある場所の確認	3月31日に全職員で行う
5月	避難訓練 (地震)	放送の確認 (カウントダウン有り) 実際の避難の仕方を学ぶ	各クラスで、放送を一度聞く。この放送 が流れた時には、職員の避難指示を 聞くことを子ども達に伝える。 二度目は、実際に避難する。 ぶどう組・みどり組は、先に園庭に出 て、避難の様子を見学する。 ゆり組は第2避難所まで、防災頭巾を かぶっていく。 実際に消火器を手にする。 声をだしながら使用方法の確認をする。
	消火訓練	消火班による訓練	
6月	避難訓練 (給食室火災) AM11:00	放送の確認 実際の避難の仕方を学ぶ 消火訓練 (消防署員の方の指導) 通報訓練の確認	各クラスで、放送を一度聞く。この放送 が流れた時には、職員の避難指示を 聞くことを子ども達に伝える。 二度目は、実際に避難する。 ぶどう組・みどり組は、先に園庭に出 て、避難の様子を見学する。 ゆり組は第2避難所まで、防災頭巾を かぶっていく。 実際に消火器を手にする。 声をだしながら使用方法の確認をする。
	消火訓練	給食室による訓練 (彩・満里奈・美由紀・梓)	
7月	避難訓練 (地震) AM10:00 防犯訓練 避難訓練 (火災)	放送をきき、保育者の指示に 従って避難することができる (全国一斉伝達訓練) 職員のみ 通報訓練の確認	放送を聞き避難できる。 外から室内への避難方法を学ぶ 職員会議において、だれでも通報でき るよう、周知徹底する。
	消火訓練	消防署による消火訓練指導	専門家の指導を受ける
8月	避難訓練 (地震)	放送をきき、保育者の指示に 従って避難することができる (飯田ケーブルテレビ伝達訓練)	放送を聞き避難できる。 ・プール活動時間に行う。
9月	引渡訓練	15時 引渡訓練を行う	保護者の協力を得て、連絡伝達訓練を 行い、引渡訓練を行う 園バス運行なし
	非常食の試食	非常食になれる	非常食を試食することで、味になれ、 園に備えがあることを知る
	消火訓練	クラス担任による訓練 (裕香・りょう・朋香・心咲・茉希)	実際に消火器を手にする。 声をだしながら使用方法の確認をする。

2025年度避難訓練計画

月	訓練種類	ねらい	内容
10月	防犯訓練 (不審者)	・フエがなったら、職員の指示がなくても、室内に避難できる。	不審者役を作り、実際に避難誘導を行う警察署員の方による指導
	消火訓練	延長保育担当職員による訓練 (雅子・まどか)	実際に消火器を手にする。 声をだしながら使用方法の確認をする。
11月	避難訓練 火災 PM14:00	焼き芋を利用して行うことで 実際の煙を感じて避難する	口頭伝達。 煙を体験し、鼻・口を押さえることの重要性を知る
	消火訓練	担当保育職員による訓練 (その日に保育に関わっている職員)	実際にバケツを使用して消火活動をする。 水消火器を使用をする。(消防署に借りる)
12月	Jアラート (ミサイル発射)	放送の確認 (カウントダウン有り) 実際の避難の仕方を学ぶ	各クラスで、放送を一度聞く。この放送が流れた時には、職員の避難指示を聞くことを子ども達に伝える。
	消火訓練	早朝保育職員による訓練 (咲子・奈美枝)	二度目は、実際に避難する。 実際に消火器を手にする。 声をだしながら使用方法の確認をする。
1月	避難訓練 (地震・火災)	放送をきき、保育者の指示に従って避難することができる (告知なし)	放送を聞き避難できる。
	消火訓練	園バス運転者による訓練 (真澄・雅子・邦江・ふじ子)	実際に消火器を手にする。 声をだしながら使用方法の確認をする。
2月	避難訓練 (地震・火災)	消防署員による確認と指導	放送を聞き避難できる。
	消火訓練	放送をきき、保育者の指示に従って避難することができる (非常勤の職員)	
3月	防犯訓練 (不審者)	・フエがなったら、職員の指示がなくても、室内に避難できる。 告知なし(警察署による指導)	不審者役を作り、実際に避難誘導を行う
	消火訓練	消火班による訓練 (彩・満里奈・美由紀・梓・真澄・奈美枝)	実際に消火器を手にする。 声をだしながら使用方法の確認をする。

※園バスも同様に毎月行うようにする。

※ADEの使用方法の勉強会を設けるようにする。

防災頭巾をかぶることが速やかにできないと意見があったため、今年度は、地震の訓練の際には、防災頭巾をかぶるようにしていく。